

施工業者様へ

試運転と電波調整の手順

ビルトインリモコン、ビルトイン室内暖房はウォシュレットからの電波を受信して作動します。

●設置環境によっては、ウォシュレットから出ている電波を調整する必要があります。

ビルトインリモコンの試運転

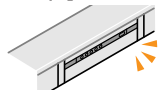
- ①リモコンの **開/閉** と **設定** を押してリモコンと便ふたを閉じた状態にし、トイレの外に出て20秒以上待ってください。



- ②再度入室し、便器に近づいて(30cm以内)リモコンが自動で開くことを確認してください。



- ③トイレの外に出て90秒以上待ってください。
④ドアを開けてリモコンが閉まっていることを確認してください。



- ⑤上記 ②～④ をもう一度行ってください。
⑥記載どおりに作動すれば、リモコンは正常に電波を受信しています。

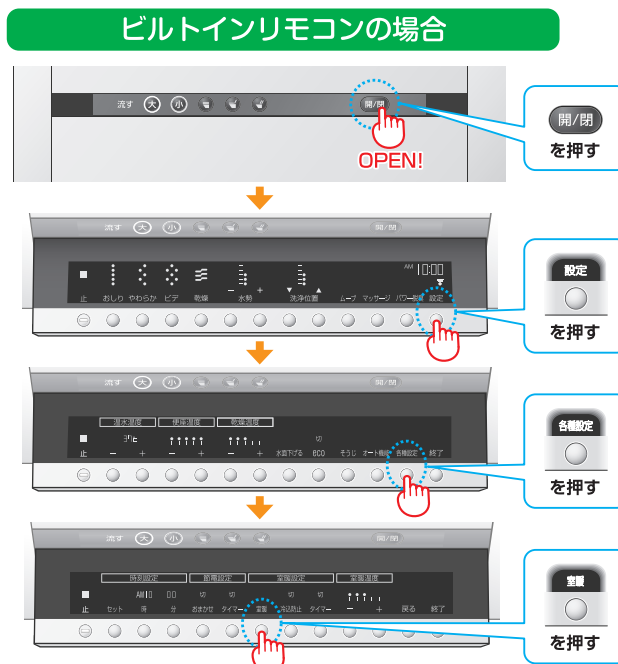
作業は完了です。

※ただしネオレストAH, AIは、うら面を参照してシールの取っ手部分を切り取ってください。

1回でも開かない、閉じない場合は電波状態が悪い可能性があります。

ビルトイン室内暖房の試運転

- ①リモコンの「室温入/切」スイッチを押してください。(ウォシュレット本体の電子音が「ピッ」と鳴ります。)



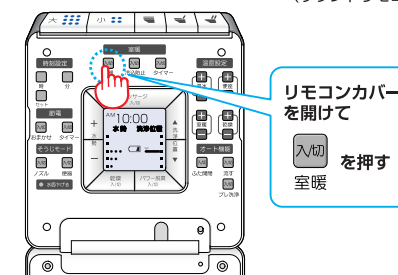
- ②室内暖房の作動音が開始することを確認して、トイレの外に出てください。(ドアを閉める)
※作動音が聞こえにくいときはドアを開けてください。
③トイレの外に出て室内暖房の作動音が、上記①で「室温入/切」スイッチを押したときから60秒以上続くことを確認してください。
※室温が設定温度より高い場合には約70秒間で止まります。
④60秒以上作動音が続けば、室内暖房は正常に電波を受信しています。
⑤もう一度「室温入/切」スイッチを押してください。(ウォシュレット本体の電子音が「ピーッ」と鳴ります。)

作業は完了です。※ただしネオレストAH, AIは、うら面を参照してシールの取っ手部分を切り取ってください。

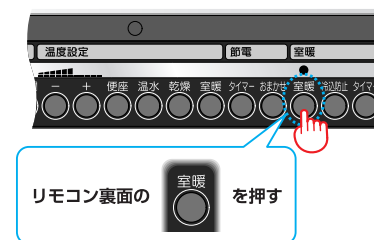
途中で室内暖房の作動音がしなくなった場合は電波状態が悪い可能性があります。

標準リモコンの場合

(サウンドリモコン含む)



スティックリモコンの場合



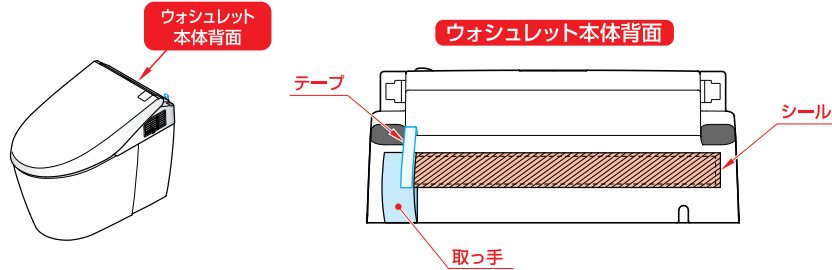
電波を調整します。
うら面を参照してください。

施工業者様へ

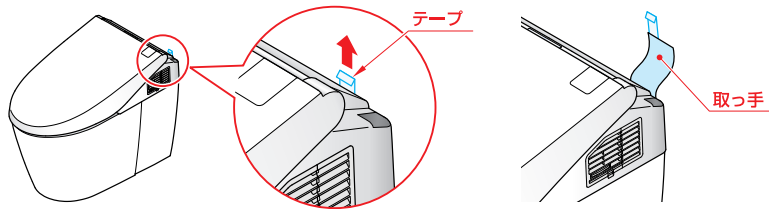
おもて面の試運転で**正常に作動しなかった場合**は、電波を調整するために製品に貼付けている**シールをはがしてください。**

●ネオレストAH, A

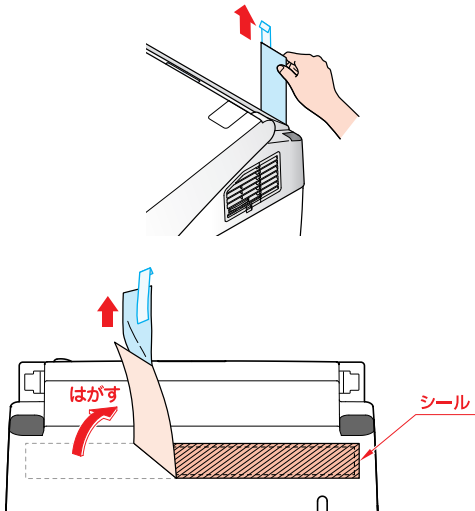
(レストルームドレッサー専用)の場合



①テープをはがし、ゆっくりと取っ手を引き出す

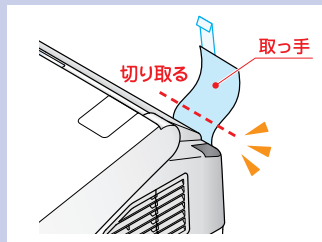


②取っ手を持って上方方向に強く引っ張り、シールをはがす



おもて面の試運転で正常に作動した場合

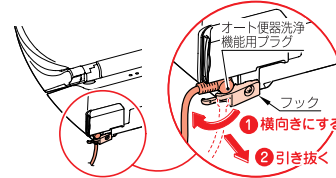
シールをはがす必要はありません。
上記①のように取っ手を引き出してください。
取っ手は不要ですので、切り取って短くしてください。(下図)
余った部分はウォシュレット本体背面と壁の間にたらしってください。



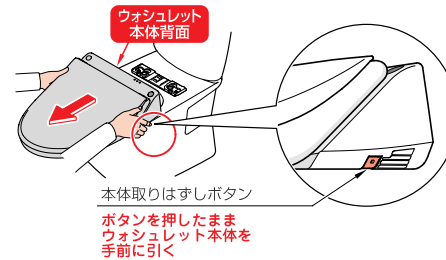
●アプリコットF

(レストルームドレッサー専用)の場合

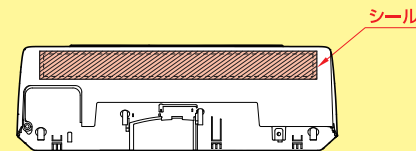
- ①電源プラグを抜く
- ②オート便器洗浄機能用プラグを抜く



③ウォシュレット本体を取りはずす



④ **ウォシュレット本体背面** のシールをはがす

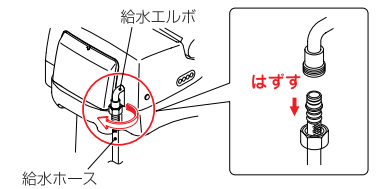


⑤ウォシュレット本体を元に戻す

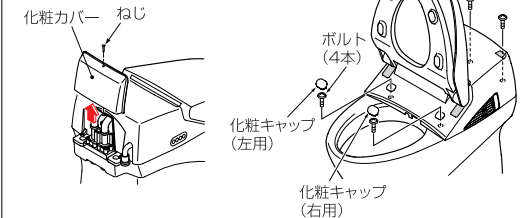
●ネオレストX

(レストルームドレッサー専用)の場合

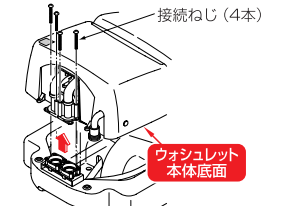
- ①電源プラグを抜いて、止水栓を閉める
- ②給水エルボから給水ホースを取りはずす



③化粧カバーと化粧キャップ(2個)、ボルト(4本)を取りはずす

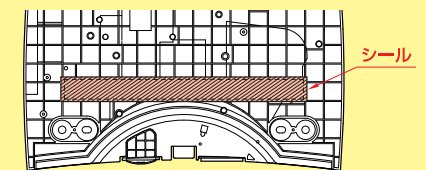


④接続ねじ(4本)を取りはずし、ウォシュレット本体を取りはずす



※凍結防止ヒータ付便器の場合：凍結防止ヒータ用コネクタをはずす

⑤ **ウォシュレット本体底面** のシールをはがす



⑥ウォシュレット本体を元に戻す

シールをはがした後、おもて面の試運転をもう一度行ってください。